

せせらぎ通信

2016. 10. 28 発行

10月のニューズピック!!

1年生：マシュマロ・チャレンジ!!!

私たちは10月3日の総合的な学習の時間で『マシュマロ・チャレンジ』を行いました。パスタの乾麺とテープを使い、できるだけ高い塔を作り、頂上にマシュマロを乗せてその高さを測るという内容です。他クラスの人も混ざって4~5人でチームを作り、協力して組み立てていきました。

このチャレンジで難しかったことは、どうやって土台のパスタを立たせるかということでした。初めて話す人もいたので、気も遣いました。苦戦しているチームもありましたが、みんなで話し合って何かチャレンジすることはとても面白かったです。

(櫻庭・守屋)



3年生：進路実現に向けて

だんだん寒くなるにつれ、3年生の進路活動も本格的になってきました。進学希望者も就職希望者もみんなそれぞれの対策に取り掛かっています。AO入試に挑む人は、先生だけでなく外部講師の方と面接練習をしたり、一般受験に挑む人は、校内でセンター試験用の模擬試験を受けて自分の実力を確かめたりしていました。すでに受験を終えている人もいますが、最後まで気を抜かず頑張りましょう。

(石田・武田)



10月は2学期の中間テストがありました。

そこで、今回は先生たちの「テストに関する失敗談&思い出」です。

- 試験時間を細かく意識するためにストップウォッチを使って試験に挑んだ結果、とんでもない速さ(1/100秒単位)で動く秒針に焦ってしまい、逆効果でした。(数学科・T先生)
- 高校時代、国語が得意だったが、たいいてい学年2番で、なかなかK君に勝てなかった。そのK君と同じ大学に合格して声をかけたら、向こうは僕を知らなかった!(英語科・O先生)
- 終了時間前にテストが終わって、窓からぼんやりグラウンドを眺めながら無意識に鼻歌を歌っていたらしく、後で後ろの席の人に叱られた。(数学科・E先生)

- 生物Ⅱのテストで、模範解答が自分の信じる説とは違うものだったが、生物の先生に話し合った結果認められたこと。(理科・K先生)
- 高3の1学期の中間テスト。勉強そっちのけで当時好きだった人とメール。相手が徹夜していたのをいいことに、早朝にモーニングコールしてもらいました。もちろんテストの点数は散々でした。(養護・F先生)



磯子職員コラムリレー 第6回 田口先生(数学科)

「俺にしかできない話」

俺にしかできない話と振られると、ハードルが高いですが、そういえば私は高校時代、陸上競技でハードルを専門にしていました。ハードルと言っても400mハードルと言う種目でした。400mに10台のハードルが並ぶ種目です。100mならまだしも、どうして?何をきっかけに?そんな種目を選んでやるの不思議に思う人も多いことでしょう。実は私もこんな種目をやる人は変態だと思っていました。華のある100mがやりたくて陸上を始めたのですから。しかし、100mでは全く勝負ができませんでした。そんな中、高校で400mハードルという種目を見たときに、この種目なら勝負ができそうだと、直感で思いました。そんな直感をきっかけに、実際にやってみたら100mよりも勝負ができる種目だと分かり、いつの間にか、夢中になるほど好きな種目になっていました。

やりたいことに熱中できることが一番だと思いますが、得意なことに熱中することでも、充実した時間を過ごせることができましたので、皆さんも得意なことに熱中してみたいかどうかがでしょうか?

次は、長島先生にバトンを回します。タイトルは「長島大預言」です。どうぞ、ご期待ください。

